

おはようございます。今年度の最後がこのような形で終了することを大変残念に思います。

自宅学習が続き、落ち着かない日々だと思います。まだしばらく続きますが、自学力をつけるチャンスと捉えて、前向きに学習に取り組んでください。

さて、今年度の締めくくりに当たり、皆さんに私からの最後のメッセージを贈ります。それはギバーになれというものです。皆さんは、Give&Takeという言葉聞いたことがあるでしょう。英語での意味は、「もちつもたれつ」となります。つまり、与えたら同じだけ返すという相互の人間関係を示しています。アメリカ、ペンシルバニア大学教授のアダム・グラント氏の研究によると、人間のタイプには3種類あるそうです。Giver, Taker, そして Matcher です。Giverとは、与える人、Takerは受け取る人、Matcherはバランスをとる人という意味です。そして、私は、皆さんにGiverを目指してほしいと思います。その理由を説明します。まず、ギバーと言ってもひたすら与えるだけではなく、テイカーといってもただ奪うだけではありません。なぜなら、最終的には世の中はギブアンドテイクで成り立っているからです。しかし、ギバーとテイカーでは考え方や生き方が正反対なのです。ギバーはまず相手のことを考え、自分の力を相手のために役立てようとします。一方、テイカーは、自分の利益を優先し、そのために必要なら与えることも考える人です。さて、グラント氏の研究によると、実は社会においてはギバーの方がテイカーよりも成功している確率が高いということがわかっています。長い目で見ると、ギバーの方が周囲から受け入れられ、支援を与える側から受ける側にもなるからです。しかし、だからといって誰でもすぐにギバーになれるわけではありません。そもそも、計算してなるのであればそれはテイカーの考え方となります。あくまでも生き方や考え方が自然にギバーになることが大切なのです。日本語のことわざにも、「情けは人のためならず」というものがあります。まさに、ギバーのことを言っていることわざです。つまり、他人のためにしたことはいずれ自分に返ってくるのだから、まずは相手のことを考えよということです。皆さんには、これからも、少しでも周りのために自分ができることを考えながら延高生活を送ってほしいと思います。私事ですが、今月末で定年退職を迎えます。このような形で、皆さんに直接お別れを言えないまま去るのは本当に心残りです。1・2年生の皆さん、皆さんには、次の延高をつくっていく責任があります。延高生としての自信と誇りを胸に、前に向かって進んでいってください。

私の一番好きな歌は、ジョンレノンの「イマジニ」という曲です。その歌詞は、you may say I' m a dreamer, but I' m not the only one. I hope someday you' ll join us, and the world will be as one.

「ぼくのことを理想家という人がいるだろうが、ぼくは一人じゃない。いつか君も仲間になってくれればいいな。そうすれば世界は一つになれるから。」

わたしは、いつも理想を語ってきました。教育者の一人として理想を語る事が使命だと考えているからです。

皆さんもそれぞれの理想を追い求めて、進んでいってほしいと思います。それでは、皆さん一人ひとりの幸せを心から祈りつつ、お別れです。さようなら。